

提供先 茨城県政記者クラブ、古河記者クラブ

令和8年2月4日（水）

茨城県県民生活環境部

多様性社会推進課

資料提供

【報道機関各位】

在住外国人と地域をつなぐ

「IBARAKI ネイティブコミュニケーションサポーター」研修会を開催します！

～多文化共生の課題解決に向け、ワークショップを実施～

県では、在住外国人の生活の困りごと相談や交通ルールや感染症対策といった生活に役立つ情報の提供などを母語で担う「IBARAKI ネイティブコミュニケーションサポーター」を認定しており、現在104名の方が活動しています。

このたび、地域の日本人と外国人が支え合う多文化共生の地域づくりをテーマに、下記のとおり研修会を開催します。本研修会は、外国人サポーターと市町村職員や国際交流推進団体の会員等とのワークショップを通じて、それぞれの立場で地域の課題にどのように関わることができるかを考え、つながりを深めることを目的としています。

報道機関の皆様におかれましては、ぜひご取材を賜りたく、ご案内申し上げます。

記

1. 日時 令和8年2月12日（木）13時30分～16時00分
2. 場所 野本電設工業コスモスプラザ 3階 会議室（古河市仁連2065）
3. 対象 IBARAKI ネイティブコミュニケーションサポーター
市町村職員、国際交流推進団体会員、日本語教室のボランティア等 60名程度
4. 主催 茨城県・古河市 協力：公益財団法人茨城県国際交流協会
5. 内容 「多文化共生ワークショップ」
講義、事例発表、グループワークを通じて多文化共生の地域づくりを学び、立場の垣根を越えて地域課題の解決策を共に考える。
 - (1) 講義「人間は、みんな違って当たり前～困ったときは、お互い様！～」
講師：特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会
代表理事 土井 佳彦（どい よしひこ）氏
略歴：大学で日本語教育を学び、卒業後、留学生や技術研修生を対象とした日本語教育に従事。2009年、自治体国際化協会「多文化共生マネージャー」認定。同年、NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会の理事に就任。2018年より代表理事。
 - (2) 事例発表「古河市における多文化共生の取組や課題等について」
 - (3) グループワーク

【お問い合わせ先】

茨城県 県民生活環境部 多様性社会推進課 担当：登坂(とさか)・鮎川(すけがわ)

電話：029-301-2174(直通) 県庁内線：2184